

類猶多シ、皆黎豆ノ類ナリ、其實ニ狸首ノ文アルモ有之、何レモ莢ワカク柔ナル時煮食フベシ、實熟シタルハ氣ヲ塞グ、性不好、

〔和漢三才圖會百四〕黎豆 狸豆 虎豆 俗云八丈豆

本綱、黎豆三月下種、生蔓、其葉如豇豆葉、但文理偏斜、六七月開花、成簇紫色、狀如扁豆花、一枝結莢十餘、長三四寸、大如拇指、有白茸毛、老則黑而露筋、宛如虎狸指爪之狀、其子大如刀豆子、淡紫色、有斑點、如狸文、煮去黑汁、同猪雞肉再煮、食味乃佳、

氣味 甘微苦温 有小毒 温中益氣 多食令人悶

按黎豆秋采、其子入錮羹中煮食、有斑點而美、故賞之、蓋初得種於八丈島乎、未詳、

〔重修本草綱目啓蒙十七〕黎豆 八升マメ ハセウマメ 肥前 十里マメ 八里半 クヅマメ

テシヂクマメ フヂマメ センゴクマメ 尾州 ナルコマメ 讃州 シヤクジャウマメ 播州中略

葉刀豆ヨリ大ニシテ、花深紫色、美シ、穂ヲ成テ生ズ、莢ハ蠶豆ノ莢ニ似テ、大ニシテ毛アリ、熟スル時ハ、黑色ニシテ筋見ル、豆ハ蠶豆ヨリ大ニ、刀豆ヨリ小シ、白色ニシテ灰斑、或ハ灰色ニシテ黒斑、數品アリ、

落花生

〔和爾雅七〕落花生 出子本草

〔書言字考節用集六〕落花生 草名

〔大和本草四〕落花生 典籍便覽云、藤蔓莖葉似扁豆、開花落地、一花就地結一葉、大如桃、深秋取食、味甘美、人共貴之、今案ニ、本草約言、東垣食物本艸等諸書ニ出タリ、本艸綱目不載之、豆ノ類ナリ、長崎ニ多ク種之、

〔遠碧軒記下〕落花生と云ものあなたより渡る、松の子の類なり、相傳この花の露が地へ落て、そ